

# ICT舗装現場見学会概要



秋田河川国道事務所は、ICT-Full 活用工事の実施や地域の取組をサポートする「i-Construction サポート事務所」です。

## ■開催概要

開催月日 令和3年11月11日（木）〔予備日：11月16日（火）〕  
開催場所 国道13号 河辺拡幅改築事業 現場内  
見学時間 午後2時～午後3時30分  
対象者：一般社団法人秋田県建設業協会  
秋田県、県内市町村職員

## ■見学会内容と時間割

1. 挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5分  
東北地方整備局 秋田河川国道事務所 事業対策官
2. 河辺拡幅の概要説明・・・・・・・・・・・・ 5分
3. i-Construction の取組概要・・・・・・・・ 10分
4. ICT 舗装の概要と現場見学・・・・・・・・ 60分

※講習時間に多少の変更がある場合もあります。

# ICT活用による本技術の導入効果～建設現場の生産性が飛躍的に向上～

## 従来方法の手作業による出来形管理

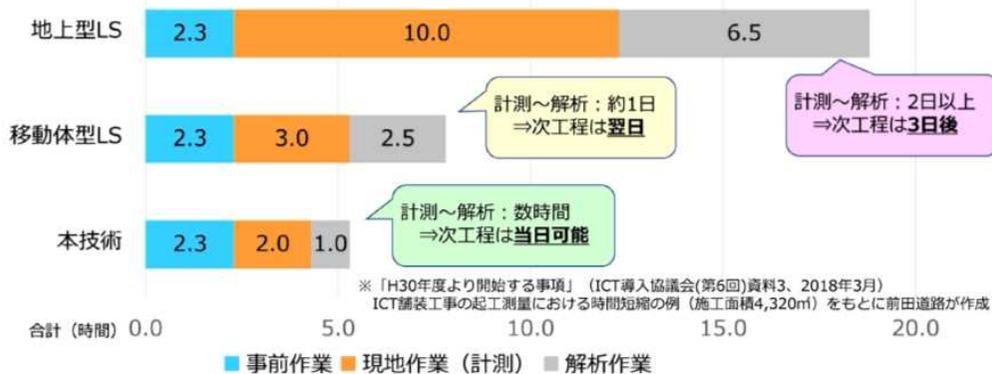


## 建設機械搭載型レーザスキャナによる出来形管理



### ICT活用効果:生産性向上『作業時間の短縮』

- (1) ICT舗装工の面管理による出来形管理における現地作業時間の短縮  
現地作業（計測）時間の比較： 2時間（本技術） < 10時間（比較技術）
- (2) ICT舗装工の面管理による出来形管理における計測データの解析作業時間の短縮  
データ解析作業時間の比較： 1時間（本技術） < 6.5時間（比較技術）



本技術により舗装工の中間工程の出来形管理の省力化、効率化が大幅に向上  
地上型レーザスキャナ比 72%減、移動体搭載型レーザスキャナ(手押し台車式)比 32%減

### ICT活用効果:生産性向上『作業人員の縮減効果』

- (1) ICT舗装工の面管理による出来形管理における現地作業の人員縮減  
現地作業人員の比較： 0.75人（本技術） < 2.5人（比較技術）
- (2) ICT舗装工の面管理による出来形管理における計測データの解析作業の人員縮減  
解析作業人員の数： 0.125人（本技術） < 0.8人（比較技術）



本技術により作業人員の縮減効果が見込める  
地上型レーザスキャナ比 66%減、移動体搭載型レーザスキャナ(手押し台車式)比 25%減